

2025年度 土木学会関西支部技術賞候補発表会

うめきた 2期区域のまちづくり

大 阪 府

大 阪 市

独立行政法人都市再生機構西日本支社

開発前のうめきた (2004年撮影)





大阪駅周辺地域部会※で議論された方向性 ※大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域都市再生緊急整備協議会会議 大阪駅周辺地域部会

すべての人々に開かれ、誰もが自由に出入りできる緑豊かなオープンスペース「みどり」を中心とし、その「みどり」が建築物と一体となって、斬新で独自性が高く、世界に強く印象づける「大阪の顔」となる都市空間をもつまちづくりの実現

質が高く、実現性のある提案を引き出すために
2段階で提案募集を実施

【第1段階】

民間との対話を通じ、より事業実現性の高い「まちづくりの方針」を策定するための提案募集

〔まちづくり検討会の開催 → 方針策定〕

【第2段階】

「まちづくりの方針」に基づきまちづくりを推進する事業者を決定するための提案募集

対話のパートナーを選定するための
提案募集の実施（1段階目）

対話を踏まえ、マスタープランを策定し、
インフラ計画、事業提案募集の条件に反映

事業者を決定する提案募集の実施（2段階目）
2期区域の事業者の決定

事業者によるまちづくりの推進

第3回大阪駅周辺地域部会資料より

まちづくりの目標

「みどり」と「イノベーション」の融合拠点

世界の人々を惹きつける比類なき魅力を備えた「みどり」



「みどり」は、単にまちの中に公園や緑地を確保することにとどまらず、未来に向けた都市や人間と自然、環境との新しい関係性を構築し、比類なき魅力を備え、都市の文化となる新しいまちづくりの空間の概念

新たな国際競争力を獲得し、世界をリードする「イノベーション」の拠点

イノベーションの創出

「みどり」と「イノベーション」の融合拠点



最先端の防災・環境技術等が融合した人間の活動、安全や環境を支える基盤

JR東海道線支線地下化事業及び新駅設置事業

事業主体：大阪市（地下化） / J R西日本（新駅）
事業期間：2014(H26)年度～2024(R6)年度

土地区画整理事業

事業主体：U R都市機構
事業期間：2015(H27)年度～2031(R13)年度（清算期間5年を含む）

防災公園街区整備事業

事業主体：U R都市機構
事業期間：2015(H27)年度～2026(R8)年度

土地有効利用事業（民間誘導）

事業主体：U R都市機構
事業者募集：2017(H29)年度～2018(H30)年度



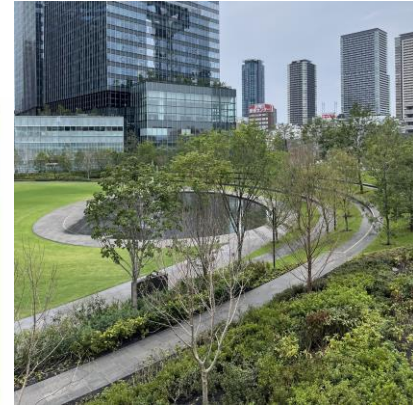
各種の魅力的な公園施設を効果的に配置し、質の高い公園整備を実現

公共による質の高い公園整備

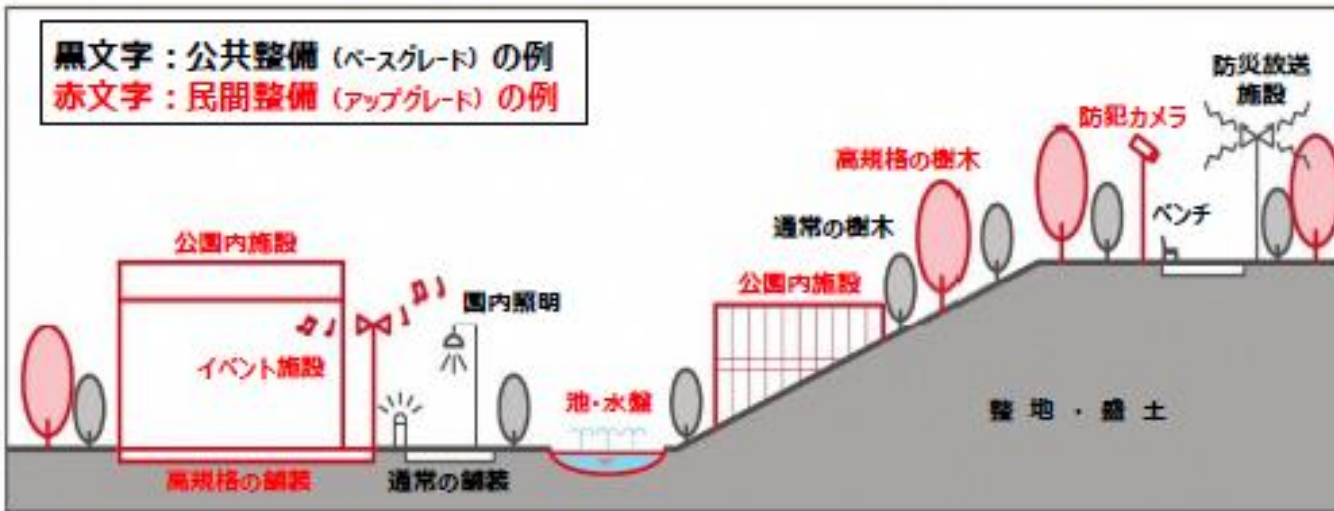
防災公園街区整備事業により、うめきたにふさわしい整備水準の公園を実現する（ベースグレード）

民間による公園の魅力をも高める施設整備

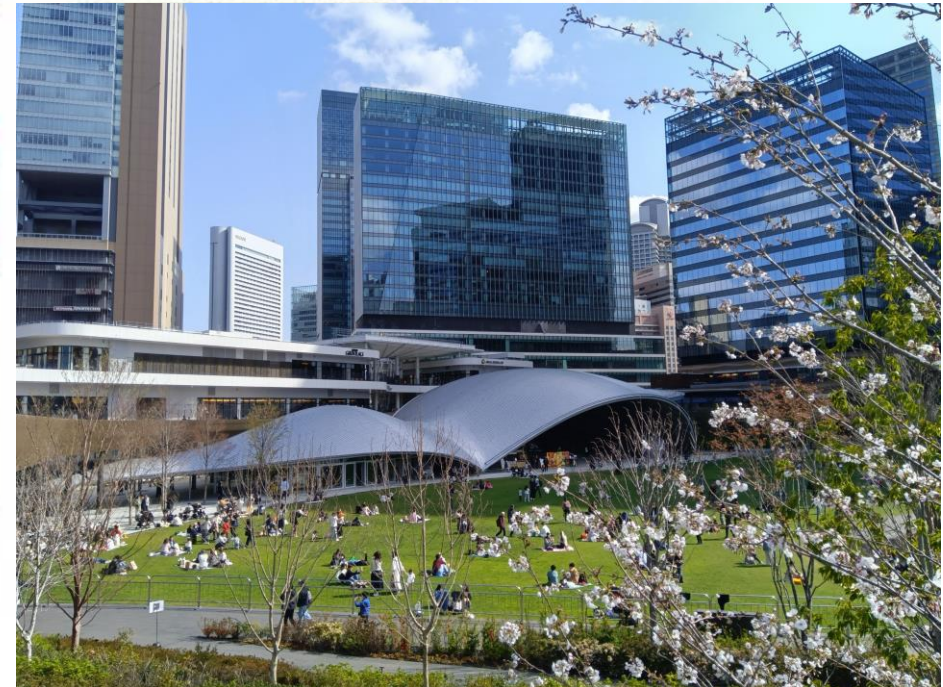
民間の柔軟な発想や優れたアイデアを活かし、まち全体の魅力を更に高める公園施設の整備（アップグレード）



黒文字：公共整備（ベースグレード）の例
赤文字：民間整備（アップグレード）の例



公民連携による公園整備の枠組みイメージ



舗装や植栽等のグレードアップにより、高質な道路空間整備を実現



- 点群測量データを用いて道路空間を3Dで再現し、切替工事のシミュレーションを実施
- 誘導員の配置や資機材運搬のルート確認など、危険予測や作業計画の着実な実行に活用



九条梅田線直線化工事の3Dシミュレーション

3D都市モデルを活用した工事中の景観、動線の事前検証

開業前のJR用地と歩道（九条梅田線）との敷地境界に係る仮囲い設置計画及び歩行空間の確認



道路、敷地境界の仮囲い計画に係る鳥瞰図



歩道（大阪駅北2号線）から工事中駅舎を通り抜けて南公園へのアクセスのための動線確認



大阪駅北1、2号交差点の仮設通路の動線確認

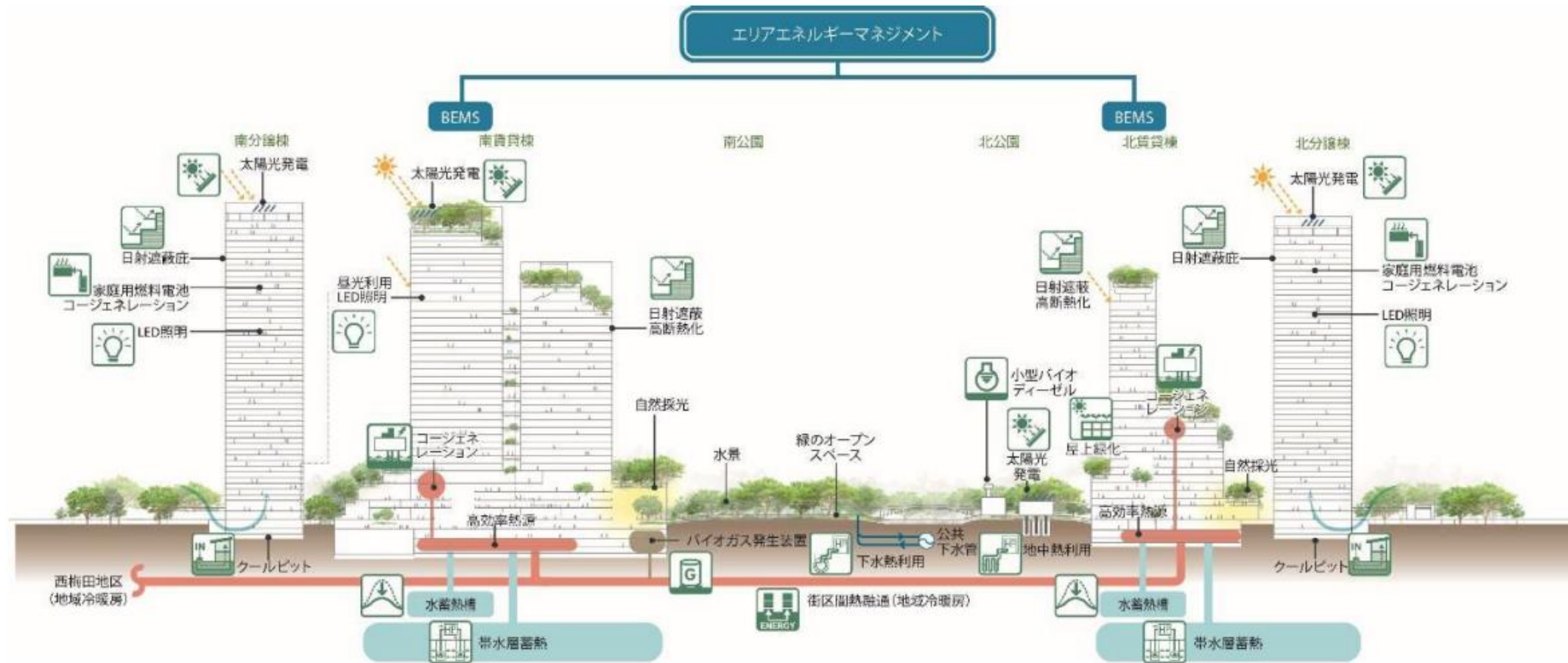


北公園の完成エリアと工事エリアにおける歩行者動線確認



エリアエネルギーマネジメントによる環境負荷低減

最先端の環境技術や資源循環インフラの導入、街区間エネルギー融通など → まち全体のエネルギー効率向上



▲本プロジェクトで採用している環境負荷低減技術

- ・事業者主体が異なり、「時間的」「空間的」に重なり合う多数の工事を両立させることが必要
- ・既成市街地での諸課題、建設環境の変化(人手不足・働き方改革等)への対応



原動力となる仕組み

事業主体の垣根を超えた信頼関係

事業推進のためのURパートナーシップ体制

前例に囚われない事業主体間の役割分担

課題を発生させないフロントローディング

課題発生時のファストトラック（調整・設計・施工）



ブーストさせるツール

テーマ別の調整会議

課題を見える化した一覧表

関係者間の共通指針となるマスタースケジュール

安心・安全な施工のための安全協議会

建設生産性を高めるデジタル技術

厳しい事業条件下においても新たな建設マネジメント技術により全体最適化

事業者主体の調整会議

調整会議体	メンバー	主な議題
公共施設等確認会議	2期事業者・UR 施工会社	・設計、工程調整 ・施工ヤード調整
区画整理・地下化・ 新駅事業定例会	大阪市・JR・UR	・事業間調整 ・工程確認
新駅周辺工程 調整会議(仮称)	JR・2期事業者 UR・施工会社	・設計、工程調整 ・施工ヤード調整
駅北1号線他埋設物 調整会議	市・2期・JR・埋設 UR・施工会社	・設計、工程調整 ・施工ヤード調整

施工会社主体の調整会議

調整会議体	メンバー	主な議題
うめきた2期地区 労働災害防止 総合協議会	エリア内の 施工会社・発注者	・安全衛生 ・工程確認 ・ゲート管理調整
九条梅田線関連 工事調整会議	九条梅田線付近 の施工会社・発注 者	・工程調整 ・施工ヤード調整
梅田ランプ東交差 点周辺工程調整 会議(仮称)	梅田ランプ東交差 点付近で施工する 施工会社・発注者	・工程調整 ・施工ヤード調整

うめきたCM会議

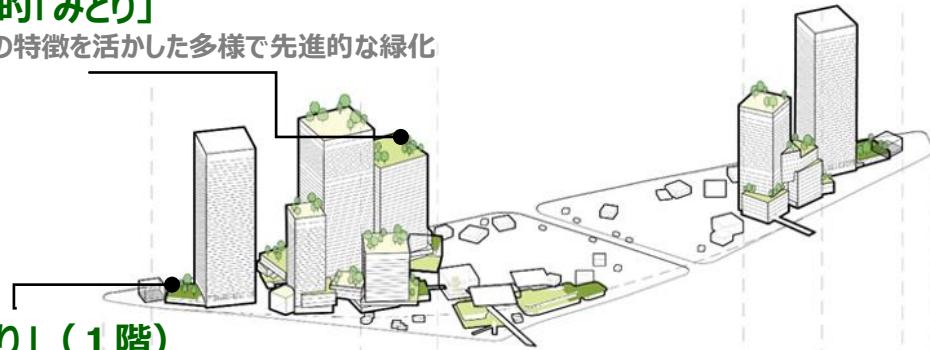
- 長期を見通した課題の提示、見える化
- 具体調整に向けた前捌き（処理期限、対応者の整理）
- 下位会議体における調整結果の全体整合

■ 都市機能と一体となった「みどり」

- ・グランドレベルの「みどり」は、都市公園と民間宅地を連続的で一体感のある計画
- ・南街区・北街区それぞれの導入機能の特徴を活かした立体的な「みどり」を整備
- ・西口広場には、都市公園と一体となった「みどり」のゲート空間を創出

民間宅地の立体的「みどり」

民間宅地の導入機能の特徴を活かした多様で先進的な緑化



民間宅地の「みどり」(1階)

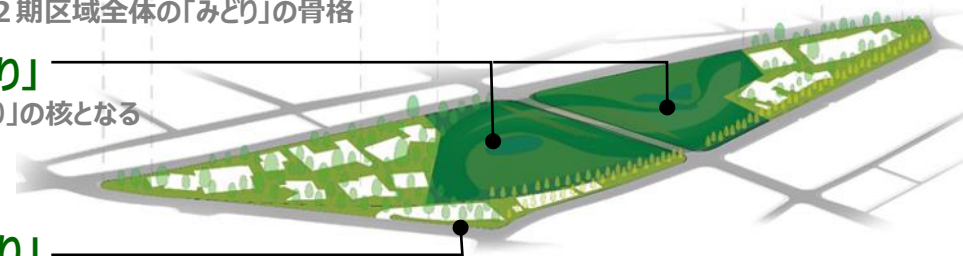
都市公園と一体となり2期区域全体の「みどり」の骨格

都市公園の「みどり」

2期区域全体の「みどり」の核となる

西口広場の「みどり」

公園と一体となった「みどり」のゲート



■ 周辺地域につながるランドスケープデザイン

公園利用の核となる3つの大規模な広場空間と、それらを有機的につなぐランドフォーム(地形のデザイン)によって形成されるシーケンス景観が新駅や先行開発区域、周辺地域との一体感を生み出す

ランドフォーム(丘)

南北の公園をつなぐ地形のデザイン

多目的な賑わいの広場の核

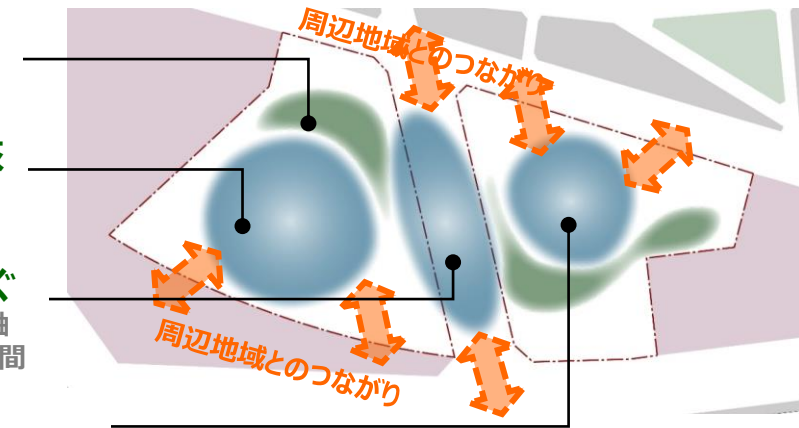
新駅に近く、大規模イベントにも対応した賑わいの核

南北の公園を賑わいでつなぐ

先行開発区域からつながる賑わい軸(道路空間)を活用した広場的空間

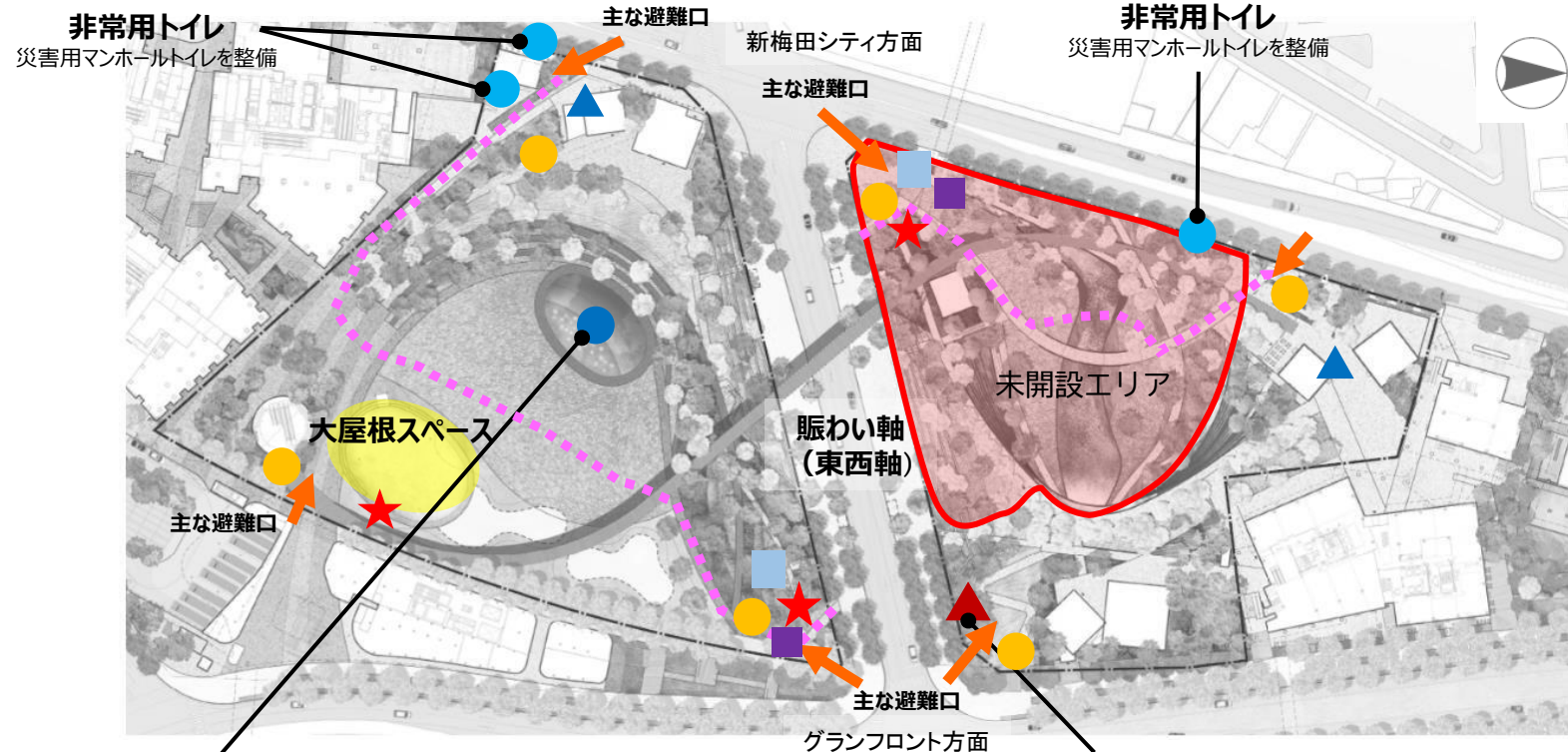
自然共生型の広場の核

森や水・光に癒されながら、季節の花を楽しむなどの利用を通じた自然とのつながり



【喜ばれる技術】大規模災害に対応可能な機能の導入

- 非常用照明 (6基)
- 仮設水槽置場 (1箇所)
- ▲ 備蓄倉庫 (2箇所)
- サイン(広域避難場所) (2箇所)
- マンホールトイレ (20基)
- ★ デジタルサイネージ (3箇所)
- ▲ 防災スピーカー (1基)
- ➡ 主な避難口 (6箇所)
- ||||||| 緊急車両用園路 (重荷対応)
- 雨水貯留槽 (流出抑制)
南850m3、北380m3



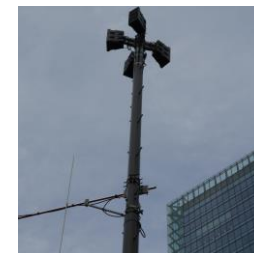
非常用トイレ
災害時のマンホールトイレ開設イメージ



水関連施設
災害時に水の供給を止め避難場所として活用

電力関連施設
・公園内非常用電力の確保
・2期地区全体として、災害時に限って隣接する民間宅地施設から電力供給を受ける計画

備蓄倉庫
・本公園における避難活動対策として、南公園・北公園それぞれに防災備蓄倉庫を確保



園路・広場
・大勢の避難者の流入が想定される西口広場及び賑わい軸（東西軸）東側に対しては十分な入口幅員を確保
・避難者の滞留スペースとして活動できる平坦な広場を確保

情報関連施設
・防災スピーカー及び非常時の情報源としても活用可能なデジタルサイネージを計画

うめきた
MMO

公園・道路の管理、景観マネジメントやイベントの実施など、
うめきた2期地区全体での一体的なエリアマネジメントを実施

まちづくり推進領域

公共空間運営管理事業

都市公園管理【指定管理】
道路空間管理
景観マネジメント

モビリティ支援

モビリティポート運用

環境・防災取組

各種活動・情報発信

うめきた・外部連携

TMO連携
周辺団体連携



空間管理と利活用
を支える基盤

プロモーション領域

イベント事業

自主イベント
外部誘致イベント

財源獲得事業

街メディア運用
パートナー制度

日常利用促進事業

参加型プログラム
市民活動支援
用具貸出

情報発信
インフォメーション事業

インフォメーション運営
公式WEBサイト運営支援
公式SNS運営



うめきた2期区域の全景（2024.9.6撮影）UR都市機構